

## 新日本石油ビルへ「低NOxボイラ(環境対応型高効率小型貫流ボイラ)」を導入

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、「低NOxボイラ(環境対応型高効率小型貫流ボイラ)」を新日石不動産(社長:塩澤 陽一郎)が所有・管理する新日本石油ビルへ暖房・冷房用の熱源として導入し、本日11月29日に火入れ式を実施しましたので、お知らせいたします。

「低NOxボイラ」は、石油連盟の会員会社が出資する石油産業技術研究所と財団法人 石油産業活性化センターとの共同開発による低NOxバーナーを搭載した最新鋭の石油焚きボイラです。燃焼効率が95%という高効率であることから省エネ特性に優れており、灯油焚きで定格運転時のNOx排出量は35ppmと、東京都の排出ガスNOx規制値(80ppm以下)をクリアできる優れた環境特性を持っています。当社は、省エネルギー効果及びNOx排出抑制効果の高いボイラの普及活動を積極的に取り進めており、2005年度の石油連盟による補助金制度創設を機に、ボイラメーカーと協力して、この「低NOxボイラ」の全国販売を開始しております。

なお、新日本石油ビルは、丸の内熱供給株式会社への加入努力義務地区<sup>※1</sup>に立地しておりますが、東京都および同熱供給会社と協議の結果、東京都の熱供給会社NOx規制基準値である40ppm以下を下回る設備を採用することにより、当該ボイラの採用が可能になりました。今後、当社では本機を実機見学用ボイラとしても活用していく予定です。

当社グループは経営理念に「Environmental harmony『地球環境との調和』」を掲げており、地球環境を守る活動に率先して取り組んでおります。新日本石油ビルでは、今回のボイラ導入を含めた空調設備更新などによる温室効果ガス削減計画を進めており、東京都から「地球温暖化対策計画書制度<sup>※2</sup>」におきまして最高ランクである「AA」を受けております。

※1 計画区域において、冷房・暖房、または給湯の熱源機器を規則で定める規模以上の設置を行う建築物の所有者は、地域冷暖房計画に加入するよう努めなければならない東京都の条例です。

※2 東京都が2005年4月より開始したもので、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量の多い都内の大規模事業所を対象に2005年度から2009年度までの温室効果ガス削減計画書の提出を求め、その計画内容を5段階で評価し、これを公表することで、地球温暖化の防止を図る制度です。

### ● 新日本石油ビルへ導入した低NOxボイラの概要

- ・導入台数:5台
- ・使用燃料:灯油
- ・性能:

	低NOxボイラ	従来のボイラ
効率(%)	95	87~90
NOx濃度(ppm)	35	130~150



新日本石油ビルへ導入された低NOxボイラ



本日、実施の火入れ式の様子

以上